



嫁ぎ先で夫に性病をうつされたぎんは、
屈辱の果てに女医となる道を自らに課し、
艱難辛苦の末、ついに日本最初の女医となる。
しかしぎんの本当の試練は
その後の人生にあった――
ぎんは、その波乱万丈の
人生をどう閉じるのか。
ぎんの怒涛の人生に自らを投じた時、
山本陽子には一体何が
みえてくるのであろうか…。

渡辺 淳一

はなうすみ

花埋み

日本初の女医、

荻野吟子の生涯

【出演】
山本 陽子

【原 作】渡辺 淳一「花埋み」(新潮文庫)より
【上演台本・演出】笹部 博司
【作曲・演奏】笠松 泰洋

2014年 **3月15日(土)**

14:00開演 (13:30開場)

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館・能楽堂

全席指定 **5,500円** (消費税込)

後援◎新潟市／新潟商工会議所／新潟日报社／
国際ソロプチミスト新潟・新潟西・新潟東
※東日本大震災復興支援に協力しています。

製作◎アーティストジャパン

主催◎公益財団法人 新潟市民芸術文化振興財団
NST

企画◎りゅーとぴあ
新潟市民芸術文化会館





人生に花束を

「花埋み」は日本最初の女医荻野吟子を主人公にした渡辺淳一の小説であるが、このモノローグドラマでは、その吟子の思考をたどってみた。気がつくとな彼女は淋

疾という病に侵されている。否応なく、さまざまな思いが彼女を襲う。そこから生まれた思いがその後の彼女の人生を形作っていく。その思いとの戦いが彼女の人生である。
吟子は人間という宿命を生きた。人間という矛盾を、不合理を

生きた。その運命の中で彼女は燃え尽きた。誰の人生も間違いと後悔がいつばいだ。その間違いと後悔に花束を。それがこの舞台のテーマである。

笹部 博司
（りゅーとびあ演劇部門芸術監督）

渡辺淳一 出演◎山本陽子

花埋み

日本初の女医、
荻野吟子の生涯

原作◎渡辺淳一「花埋み」(新潮文庫)より
上演台本・演出◎笹部博司
作曲・演奏◎笠松泰洋

早いもので、2013年はデビューしてから五十年目の節目になります。漠然と、何か記念になる作品をと思っておりましたところに、新潟市民芸術文化会館・りゅーとびあから「りゅーとびあ発物語の女たちシリーズ」の上演作として、この作品のお話をいただきました。五十年にあたります今夏に東京名古屋・京都・奈良の4か所で開催として上演させて頂いております

すが、2014年3月、ようやく新潟での上演が実現します。私の初めての主演舞台は、十三年前、作品はなんと「花埋み」でした。初心に戻りまして、再度この作品を二人語りの形式で演じさせて頂きます。半世紀にわたる女優生活となりましたが、本当に様々な事がございました。楽しい事ばかりではなく、苦しく辛い事もたくさんあり、私なりに乗り越えて参りました。

た。荻野吟子の生涯に私自身の女優人生を重ね、女の一生をご覧にいらたく思っております。

山本 陽子



荻野 吟子(おぎのぎんこ)

【嘉永4(1851)年～大正2(1913)年】

近代日本最初の公認女性医師。女性運動にも携わって女性の地位向上に努めた。埼玉県妻沼町(現・熊谷市)の代々庄屋を務めた旧家に生まれ、16歳で結婚。夫から淋病をうつされ、東京の順天堂医院に受診した。その際、異性に診察されることに抵抗を感じ、医師になる決心をする。東京女子師範学校(一期生)を経て、東京下谷の好寿院で医学を学んだが、当初拓務省の医術開業試験受験を前例がないとの理由で拒否された。当時の内務省衛生局長・長と専断の尽力もあって、明治18年に合格し、医籍に登録された最初の女性となった。東京湯島で開業。明治23年、牧師の志方之善と再婚し、明治27年、夫と共に北海道に渡り、瀬棚郡瀬棚村で開業。開拓事業に挑むが、明治38年、夫が死去。明治41年東京に戻り、江東新小梅町で開業した。基督教婦人矯風会風俗部長、大日本婦人衛生会幹事、明治女学校教師兼校医などを歴任。生地の埼玉県熊谷市及び、北海道せたな町に顕彰碑がある。



新潟市民芸術文化会館
〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3番地2
(白山公園内)

■会館のご案内



- 新潟駅方代口より車で15分
- 関越自動車道・磐越自動車道新潟中央ICより車で20分
- 新潟駅方代口よりバスで「市役所前」下車 徒歩7分
- 「競技場前」下車 徒歩5分
- 「白山公園前」下車 徒歩3分
- 新潟空港より車で30分

- ◆チケットご購入の際のご注意
 - ◎未就学児童はご入場いただけません。また小学生以上の方はチケットが必要です。
 - ◎お買い上げいただいたチケットのキャンセル・変更はできません。
 - ◎やむをえない事情により内容・出演者等が変更されることあります。
 - ◎車椅子席はチケット購入時にお申し出ください。
- ◆サポートシステムのご案内
 - ◎お申し込み先「りゅーとびあチケット専用ダイヤル025-224-5521」
 - ◎託児室：公演日の2週間前までにお申し込みください。なお定員になり次第、締切らせて頂きます。(対象：6ヶ月以上～小学校2年生まで)
 - ◎託児料：未就学児1人1,000円、小学生1人1,500円 ※公演日前1週間を過ぎてもキャンセルは託児料と同額のキャンセル料が発生します。
 - ◎聴覚者赤外線補聴システム：あらかじめお申し出ください。

2014年 3.15 (土)
14:00開演(13:30開場)
りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館・能楽堂

全席指定 5,500円(消費税込)

若尾文子「春の雪」(2013年12月15日(日)・16日(月))・
山本陽子「花埋み」 2公演セット券 10,000円

※2公演セット券は枚数限定、りゅーとびあでの取扱・前売りのみ

【チケット発売日】
《演劇バル・N-PAC mate先行》2013年 9月12日(木)
《一般発売》9月13日(金)

【チケット取扱い】
セブン-イレブン(セブンチケットセブンコード 025-040)
新潟伊勢丹・文信堂CoCoLo本館(新潟駅ビル内)
インフォメーションセンターえん(メディアシップ1F)
りゅーとびあ

【お申込み・お問合せ】
りゅーとびあチケット専用ダイヤル
☎025-224-5521(11:00～19:00/休館日を除く)

INST イベントインフォメーション
☎025-249-8878(平日10:00～18:00)